

# 目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	産業研究所
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学内教員を核とした共同研究を常時3プロジェクト設置し、加えて毎年臨時的プロジェクトを1つ以上運営する。	→各研究プロジェクトの定例研究会のうち公開型を2回以上開催する。終了後1年以内に研究成果の公刊。	A	A	B		
2. 常時運営する3つの共同研究のテーマは、いずれも国際性、あるいは地域連携と結びついた内容とする。	→プロジェクトは国際性か社会連携性のあるテーマ設定とそれにふさわしいメンバー（学外者を必須）を編成。	A	A	A		
3. EUインスティテュート関西事業、EU情報センター活動、および日中経済シンポジウムを毎年運営する。	→産業研究所の運営するEUIJ関西シンポジウム、日中経済シンポジウムを毎年各1回以上開催。	A	A	A		
4. 産業研究所の共同研究活動の成果は、毎年出版物として公刊するのみでなく、講演会で教育活動や社会に還元する。	→学外公開型講演会・セミナーを年10回以上開催。東京での講演会を毎年開催し、首都圏での学術情報発信を行う。	B	A	A		
5. 経済・産業学術情報データベースを維持・更新して、研究者、学生に利用（検索）提供し、研究活動に寄与する。	→データベースに、毎年8千件以上の論文記事データの追加入力。	A	A	A		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

## 《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2011年度の3プロジェクトの公開型研究会は、アジアプロジェクト4回、国際開発事業プロジェクト1回、公共インフラプロジェクト3回で、必ずしも目標どおりではない。一方、EUIJ関西の経営学グループ研究会は、EUの専門家を迎えて2回開いた。
目標2	2011年度に始まった「公共インフラの整備と地域振興政策の推進」プロジェクトは、学内の研究員6名に加えて、学外等研究員9名を迎え、その中には学界以外の研究者もいる。結果として、3プロジェクトは、すべて国際性、社会連携性のあるテーマで運営されている。
目標3	EUiのフレンドシップウィークをEUクイズ、講演会、料理教室などの企画で6月に実施。EUIJ関西事業（産研担当）として、EESC（欧州経済社会評議会）との共催で、11月に大学図書館ホールで「東日本大震災と福島第一原発事故」のテーマで国際シンポジウムを開いた。 第5回日中経済社会発展フォーラムを2012年2月に大阪市内で開催した。
★ 目標4	公開型のシンポジウム・講演会・セミナーは合計13回開催している。東京において、11月にデニス・ミューラー氏の講演会、また大阪市内において6月にアン・グラハム氏、2012年2月に日中経済社会発展フォーラム、3月に「アジアとつながる関西経済を考える」シンポを開催した。
目標5	産業研究所の管理するリファレンス・レビュー（論文記事の索引データベース）の2011年度の入力レコード件数は9,726件であった。累積のレコード数は、2011年度末で279,160件となっている。一方、2011年度年間アクセス件数は3,635件であった。2009年度の5,747件をピークに、2010年度4,734件に続き、減少している。
備考	